

薬剤師・薬局の機能強化に関する 現状と課題の調査結果

令和元年度 第1回 徳島県薬剤師・薬局機能強化
及び多職種連携対策協議会
令和元年9月10日 グランヴィリオホテル

アンケート調査

✓ 調査目的

地域において、薬局・薬剤師が他職種や医療機関等の関係機関と連携しながら、その役割が発揮できるよう、多職種連携に関する課題やポリファーマシーに関すること等、薬剤師・薬局の課題に関する実態調査を多職種（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士等）に対して行います。

✓ 調査対象

徳島市内の医療機関（病院，診療所，歯科医院等），薬局，訪問看護ステーション及び理学療法士が勤務している介護老人保健施設等

✓ 調査期間

令和元年8月

✓ 調査方法

アンケート調査票を徳島市内の対象施設に送付又は関係団体に配布

アンケート結果概要

○ 医療機関(病院, 診療所, 歯科診療所を含む)

- 配布数 : 474施設
- 対象職種 : 医師, 歯科医師, 病院薬剤師, 理学療法士
- 回収数 : 262施設
- 回収率 : 55.3%

○ 薬局

- 配布数 : 161施設
- 対象職種 : 薬局薬剤師
- 回収数 : 141施設
- 回収率 : 87.6%

○ 介護老人保健施設等理学療法士勤務施設

- 配布数 : 24施設
- 対象職種 : 理学療法士
- 回収数 : 18施設
- 回収率 : 75.0%

○ 訪問看護ステーション

- 配布数 : 46施設
- 対象職種 : 訪問看護師
- 回収数 : 26施設
- 回収率 : 56.5%

<団体に配布(徳島市以外を含む)>

○ 管理栄養士

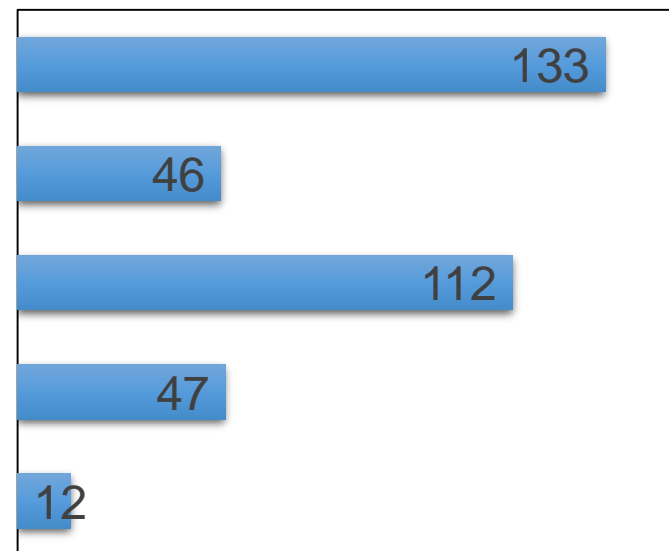
- 回収数 : 9

○ 介護支援専門員

- 回収数 : 105

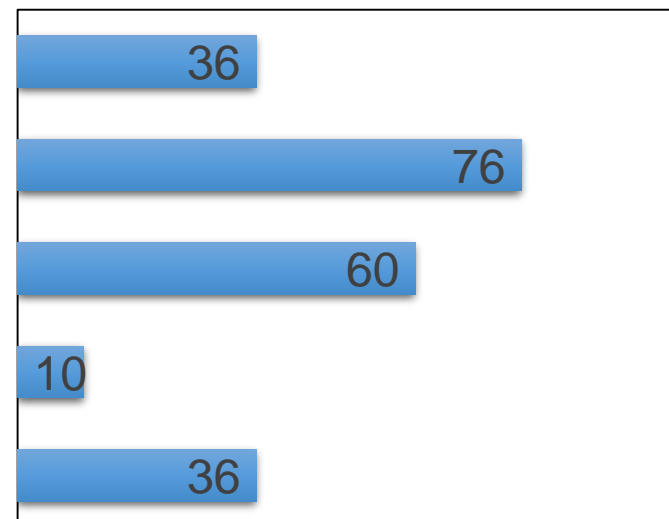
問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



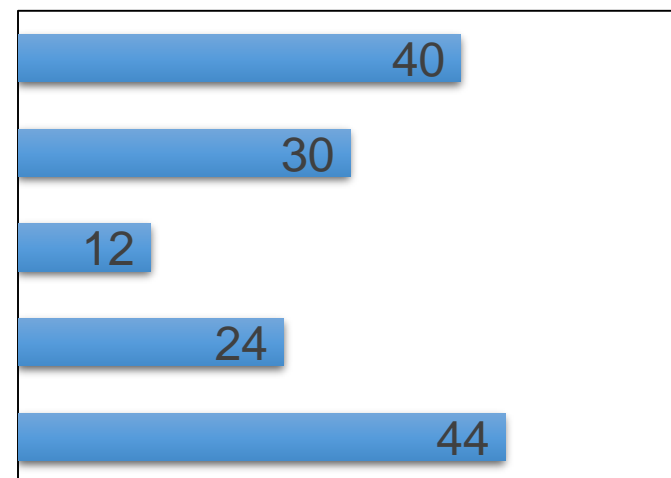
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）

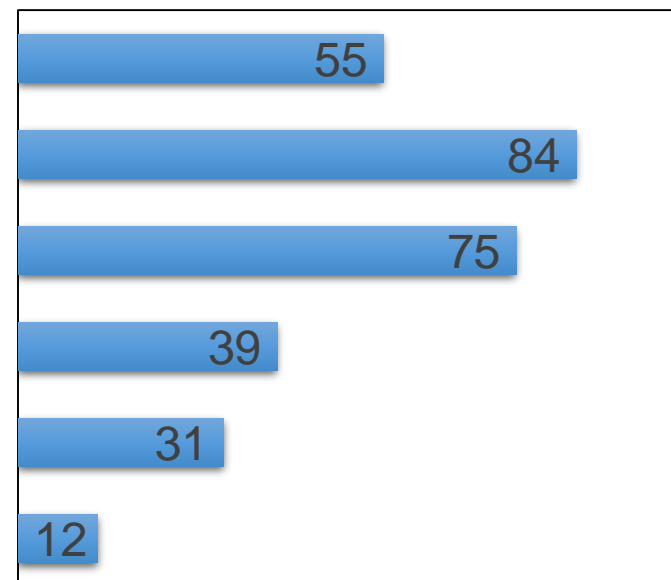


問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。(複数回答可)

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他(自由記入欄に記入してください)

**問4 薬局の薬剤師に行ってほしいことをお教えてください。(複数回答可)**

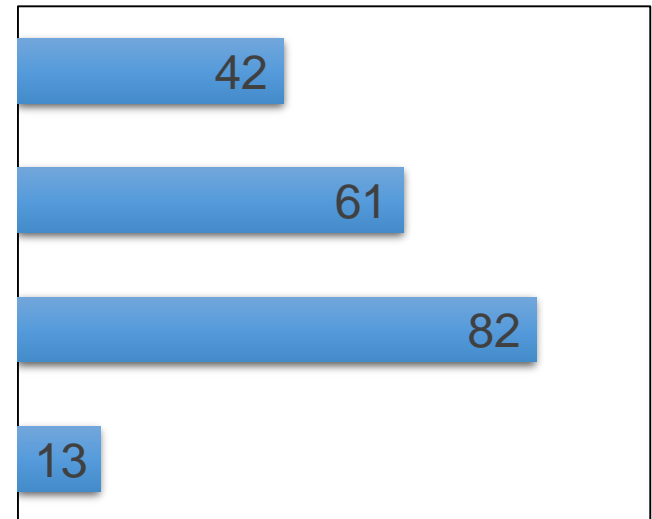
- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理(日数調整)や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他(自由記入欄に記入してください)



回答結果 医師(医療機関)

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C 多剤併用（ポリファーマシー）等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）

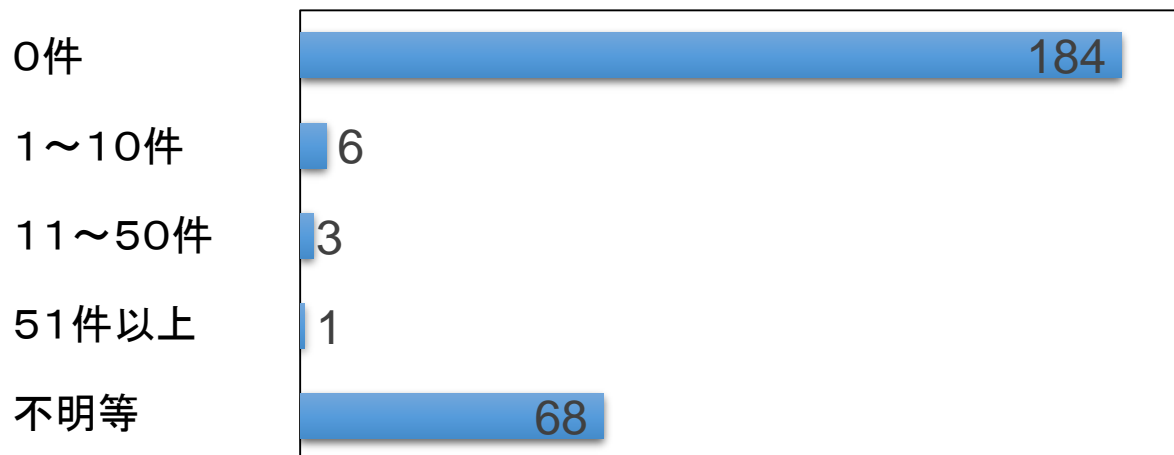


問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

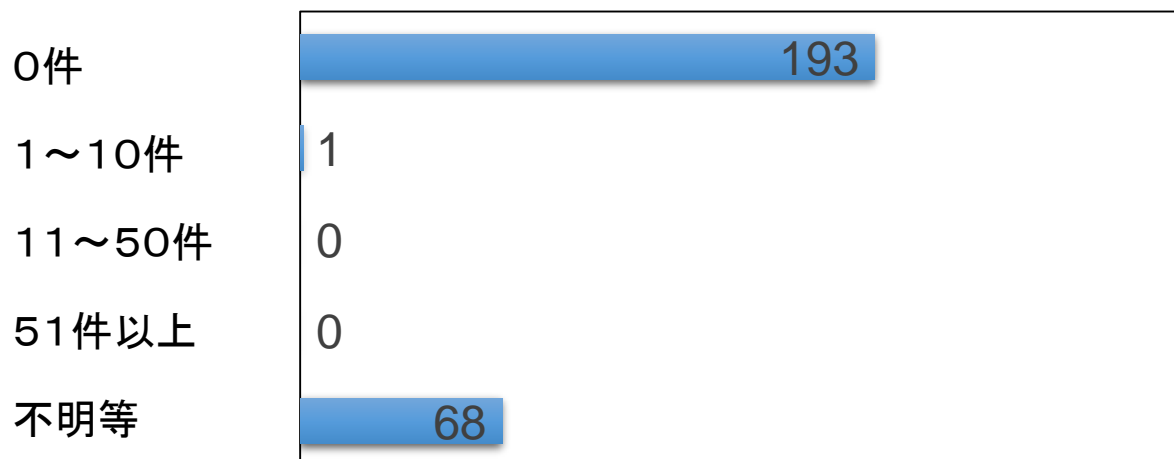
回答結果 医療機関

問7 薬剤総合評価調整管理料等の実績をお教えてください。(概数で可)

① 薬剤総合評価管理料(250点) 直近1年間



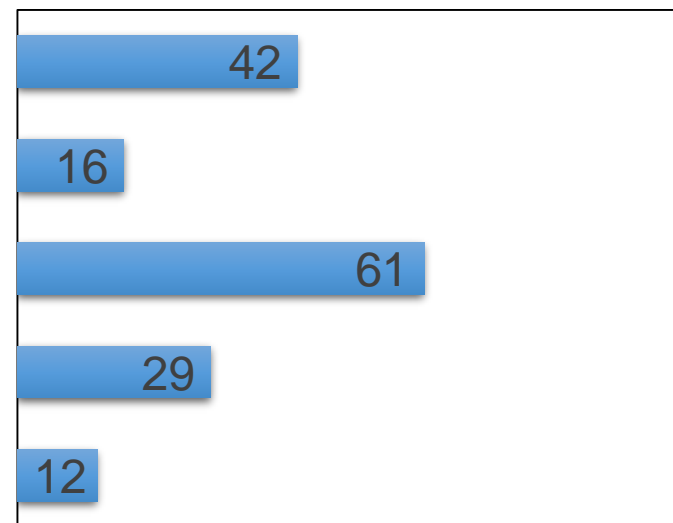
② 連携管理加算(50点) 直近1年間



問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

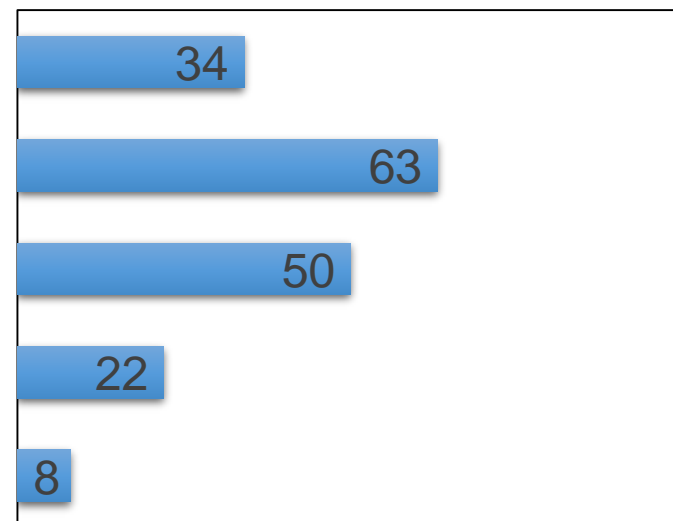
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



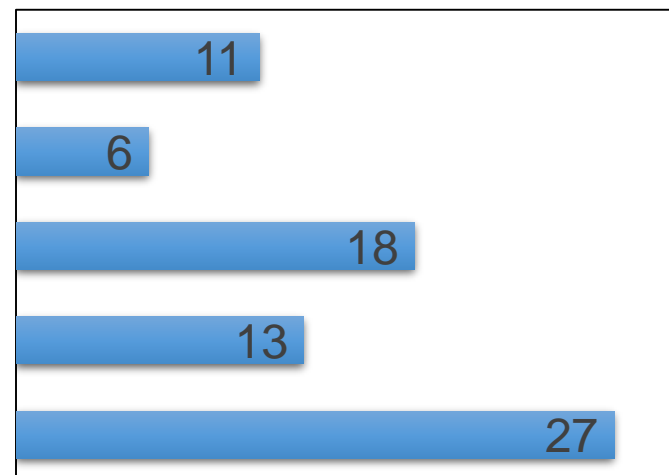
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



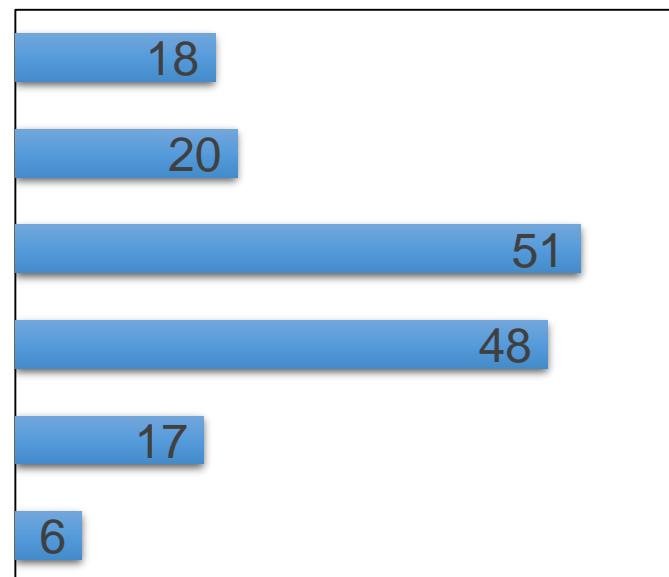
問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。(複数回答可)

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他(自由記入欄に記入してください)



問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。(複数回答可)

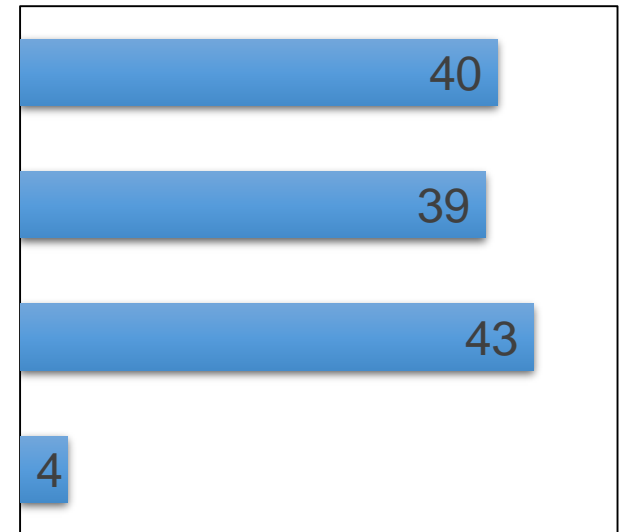
- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理(日数調整)や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他(自由記入欄に記入してください)



回答結果 歯科医師(医療機関)

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

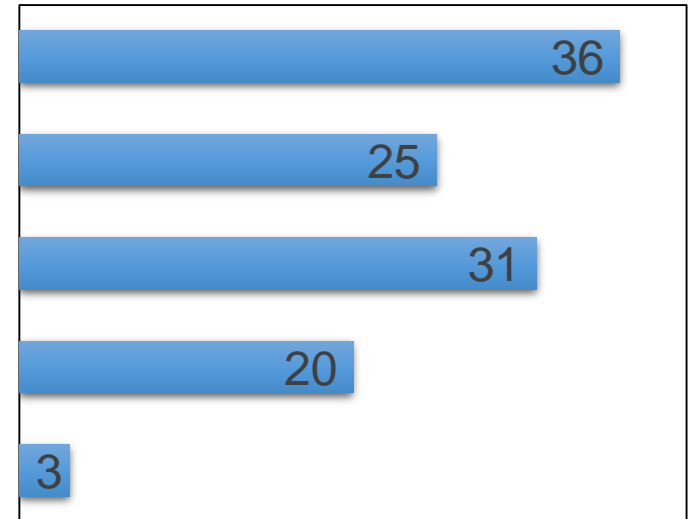
- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C 多剤併用（ポリファーマシー）等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）



問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

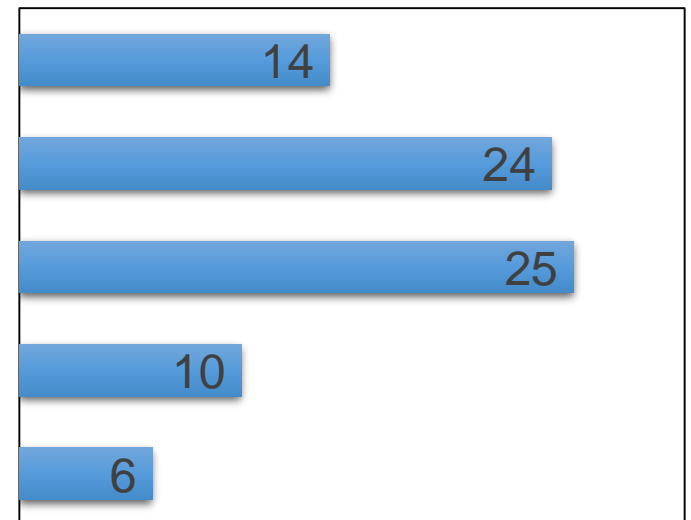
問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



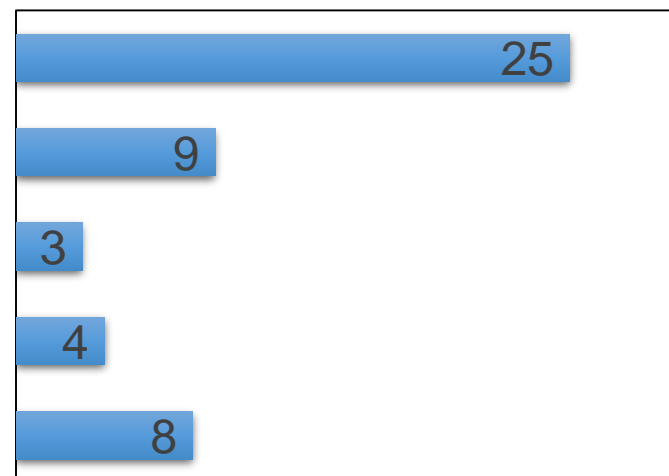
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



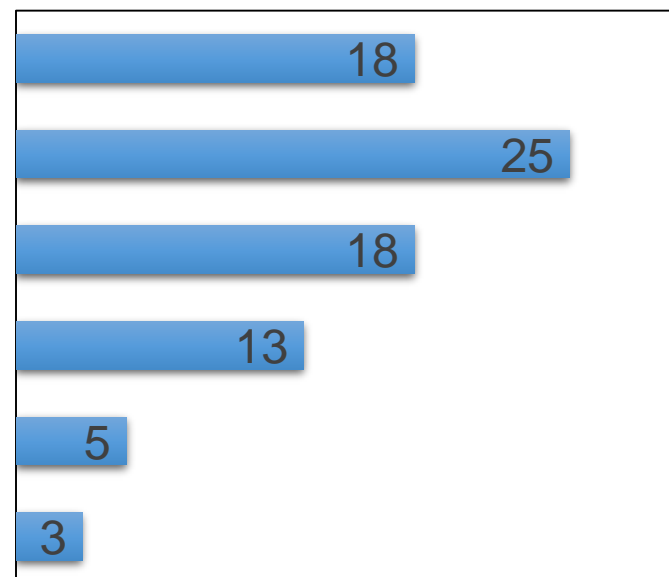
問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。(複数回答可)

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他(自由記入欄に記入してください)



問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。(複数回答可)

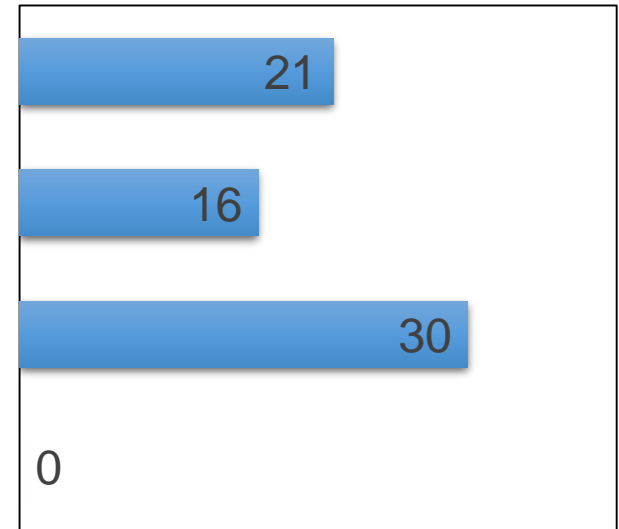
- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理(日数調整)や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他(自由記入欄に記入してください)



回答結果 病院薬剤師(医療機関)

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

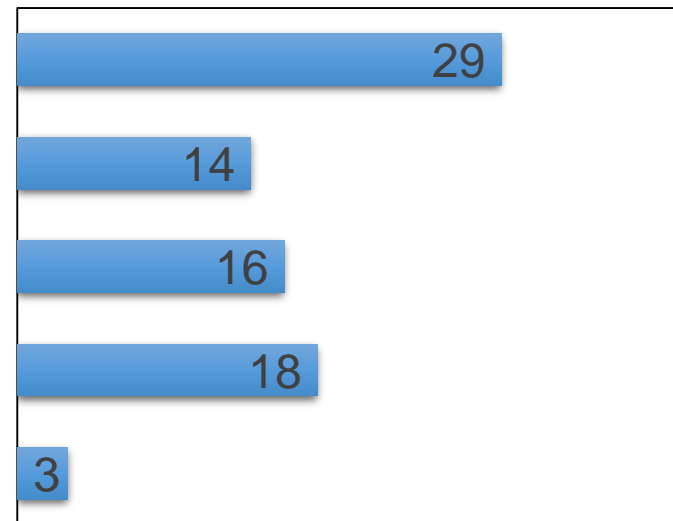
- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C 多剤併用（ポリファーマシー）等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）



問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

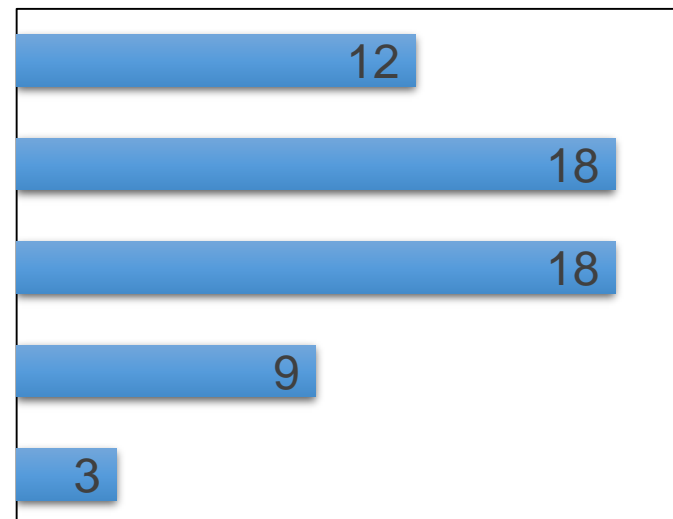
問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



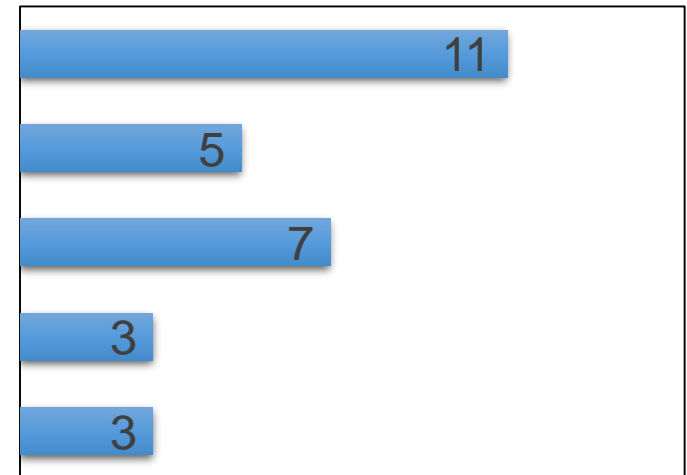
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



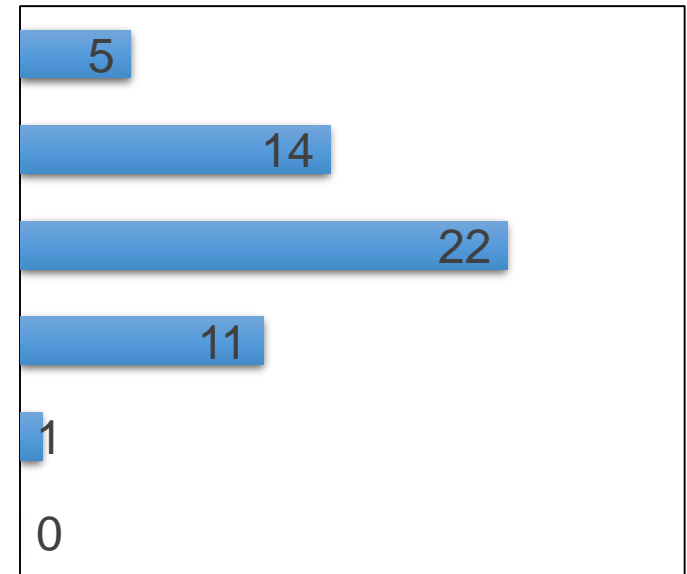
問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。(複数回答可)

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他(自由記入欄に記入してください)



問4 薬局の薬剤師に行ってほしいことをお教えてください。(複数回答可)

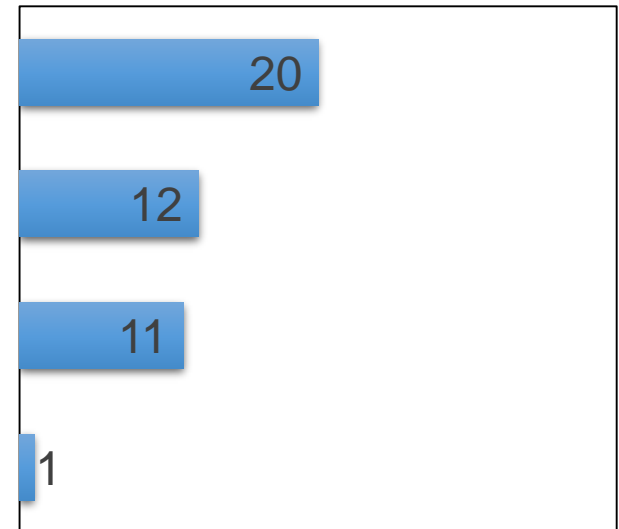
- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理(日数調整)や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他(自由記入欄に記入してください)



回答結果 理学療法士(医療機関)

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

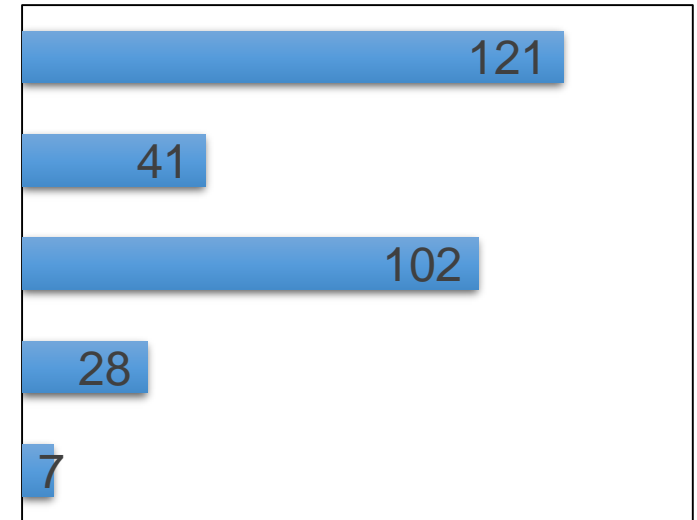
- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C 多剤併用（ポリファーマシー）等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）



問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

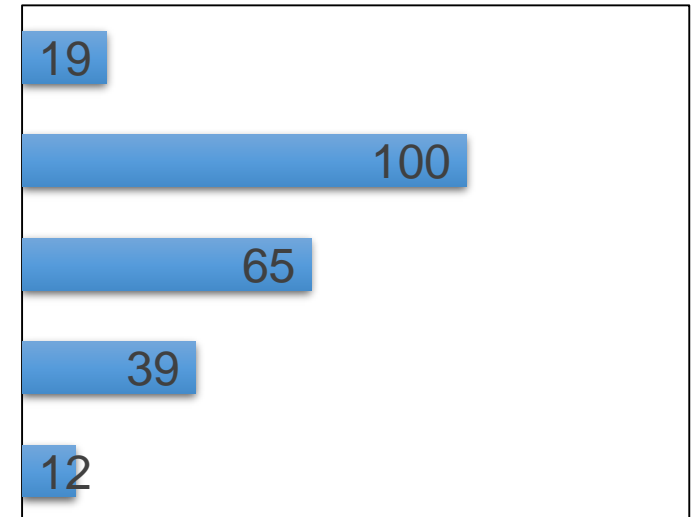
問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

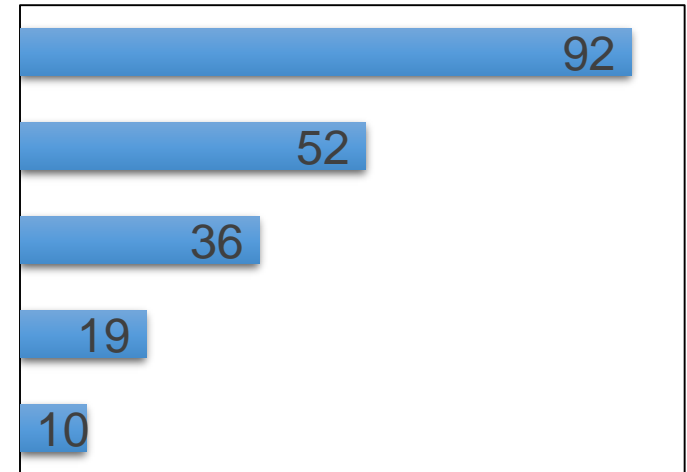
- A 連携先がわからない
- B 日頃から患者の症状などについて他の職種と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 医師など他の職種からの問合せやニーズがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



回答結果 薬局

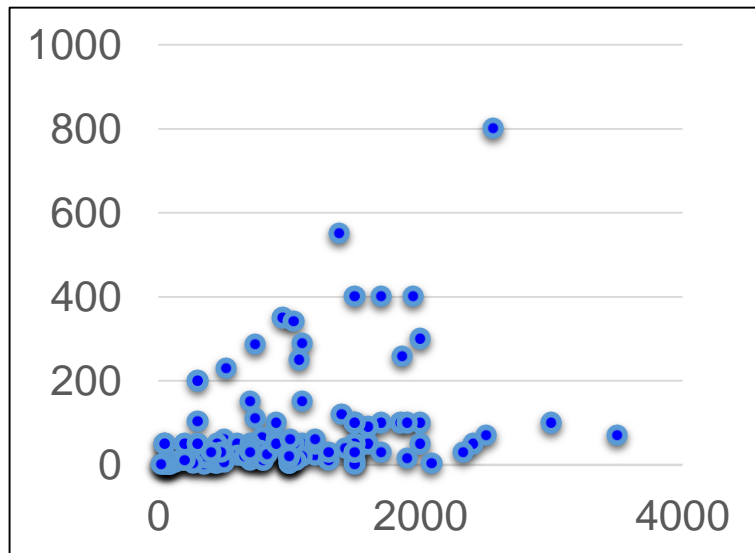
問3 薬剤師の人材育成等の現状で、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 調剤業務に追われ、研修参加等による資質向上の機会がない
- C 薬剤師同士での連携・協力体制の機会がない
- D コミュニケーション能力等対人業務への不安がある
- E その他（自由記入欄に記入してください）



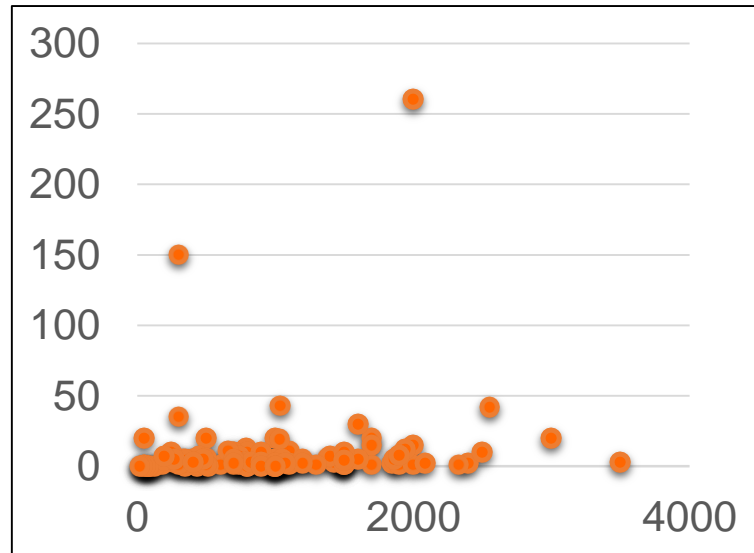
問4 医師に対する疑義照会等の現状についてお教えてください。(概数で可)

② 疑義照会件数(照会内容不問、1か月平均)



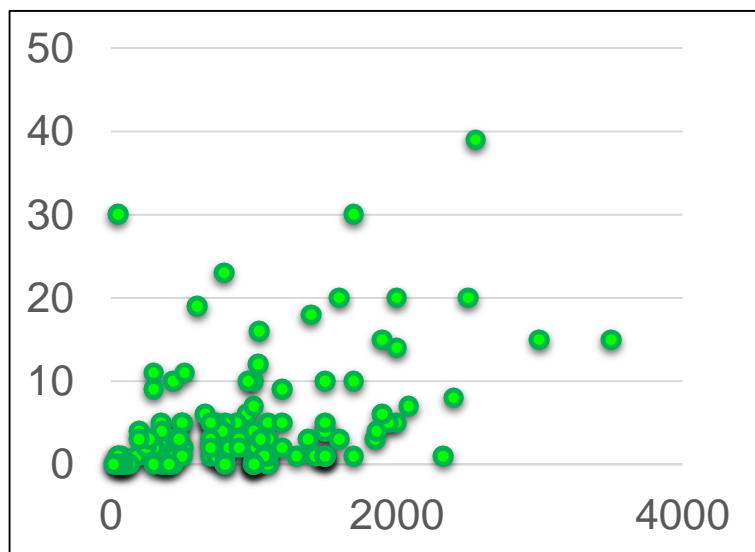
① 月平均の外来処方箋枚数

③ 重複投薬・相互作用防止加算に係るもの(1か月平均、残薬調整 30点)



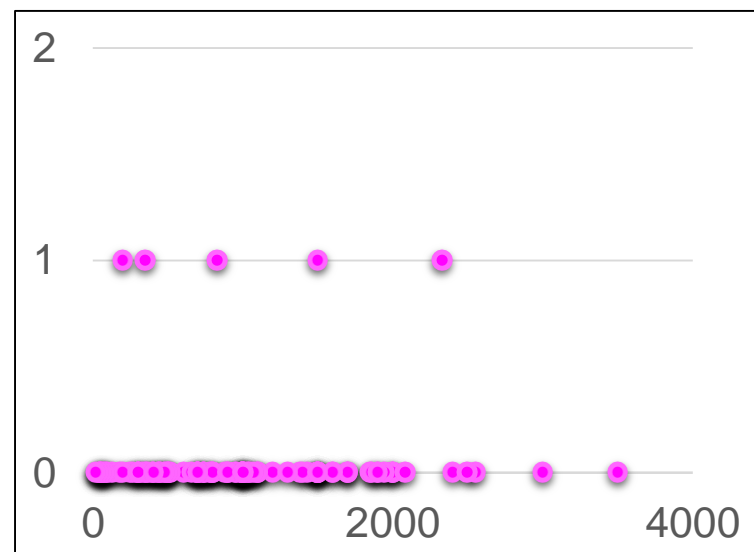
① 月平均の外来処方箋枚数

④ 重複投薬・相互作用防止加算に係るもの以外(40点)



① 月平均の外来処方箋枚数

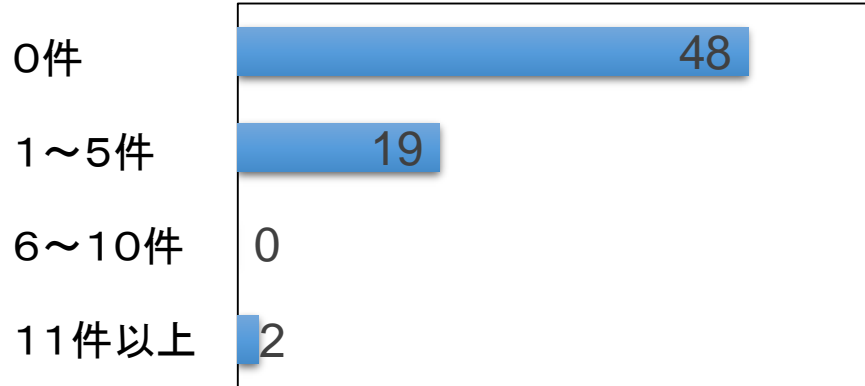
⑤ 服用薬剤調整支援料(直近1年間、125点)



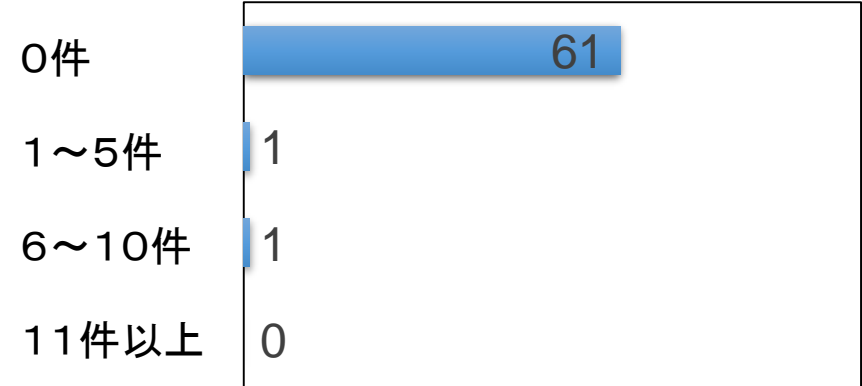
① 月平均の外来処方箋枚数

問5 在宅患者訪問薬剤管理指導料の実績をお教えてください。(概数で可)

① 単一建物診療患者1人(650点)
1か月平均



② 単一建物診療患者2~9人(320点)
1か月平均



③ ①, ②以外の場合(290点) 1か月平均 回答はすべて0件

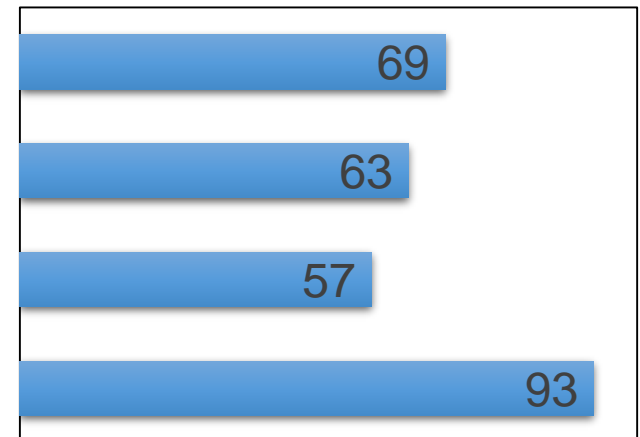
<回答薬局数>

① 単一建物診療患者1人(650点) 1か月平均

② 単一建物診療患者2~9人(320点) 1か月平均

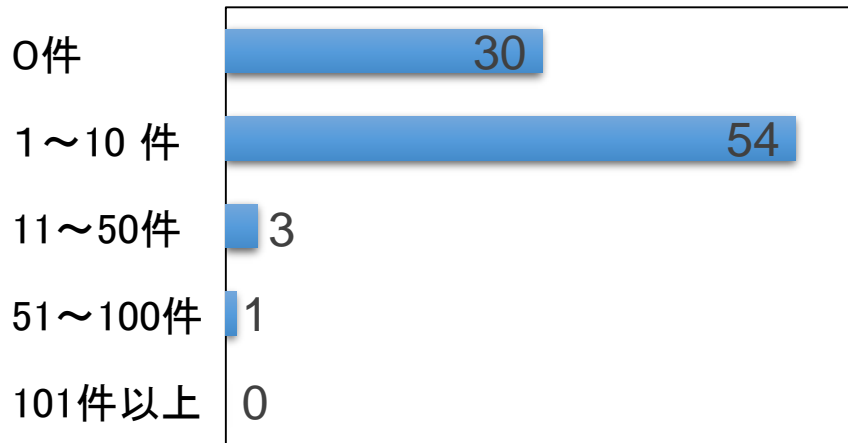
③ ①, ②以外の場合(290点) 1か月平均

④ 対応可能だが実績がない場合

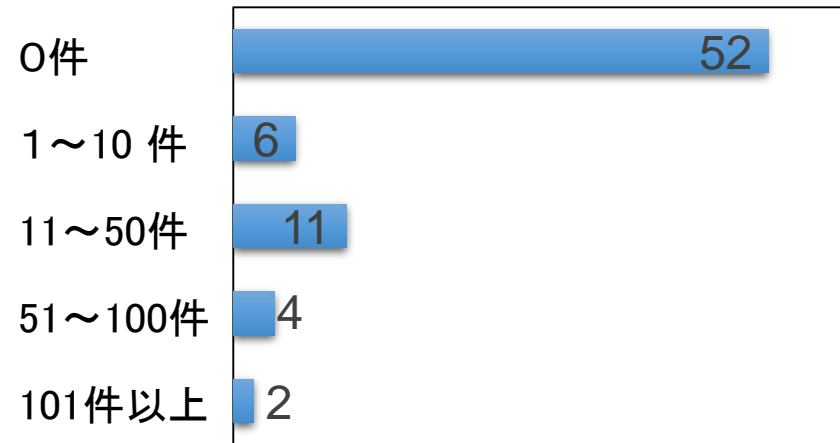


問6 居宅療養管理指導料の実績をお教えてください。(概数で可)

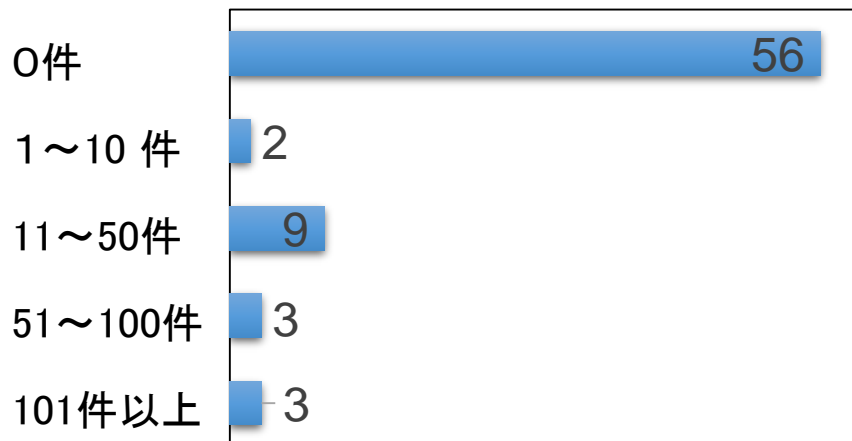
① 単一建物居住者1人(507点) 1か月平均



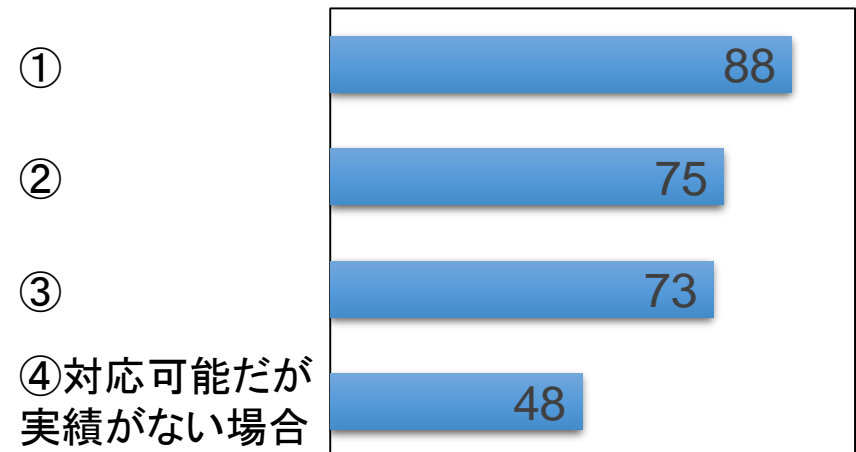
② 単一建物居住者2~9人(376点) 1か月平均



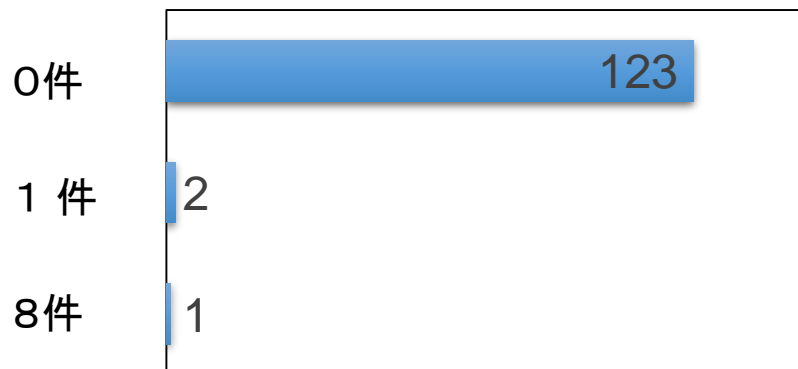
③ 単一建物居住者10人~(344点) 1か月平均



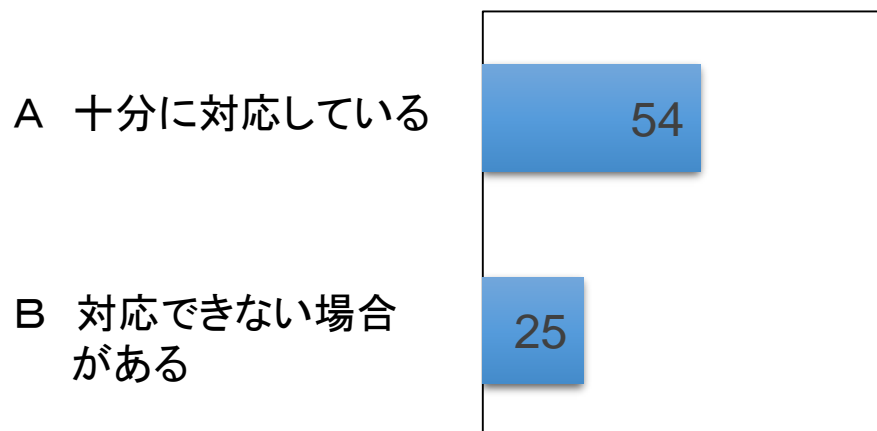
<回答薬局数>



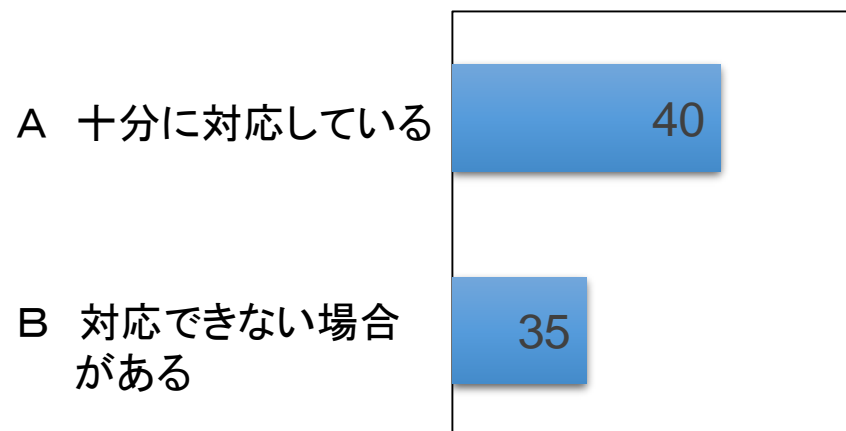
問7 退院時共同指導料（600点）の実績をお教えてください。（概数で可）
直近1年間



問8 訪問薬剤管理指導を行っている場合、平日時間内における臨時処方への対応状況を教えてください。

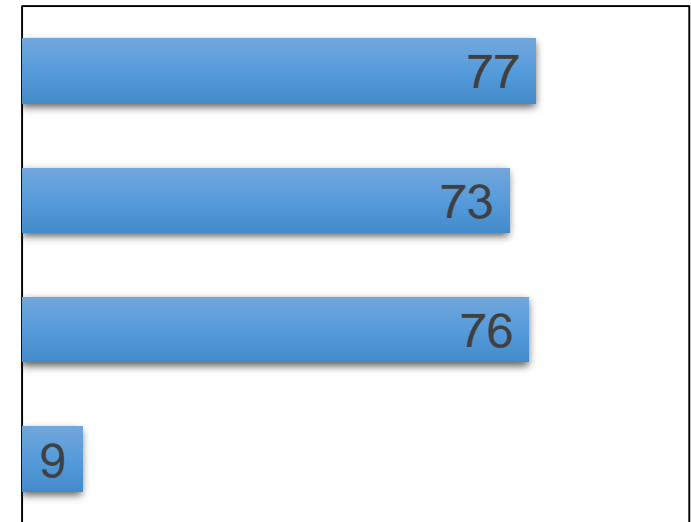


問9 訪問薬剤管理指導を行っている場合、夜間、休日の対応状況を教えてください。



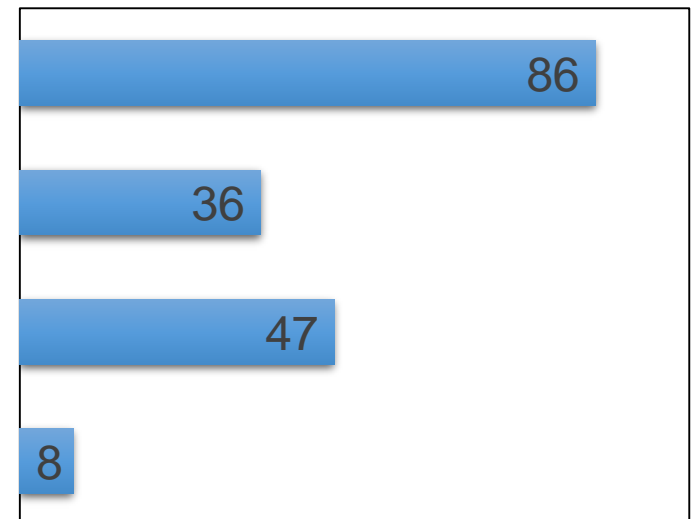
問10 医師・看護師など他職種に行ってもらいたいことをお教えてください。

- A 患者の行動変化（副作用の兆し）の情報共有
- B 検査データ等を積極的に提供してほしい
- C 入院時や退院時の患者情報の共有
- D その他（自由記入欄に記入してください）



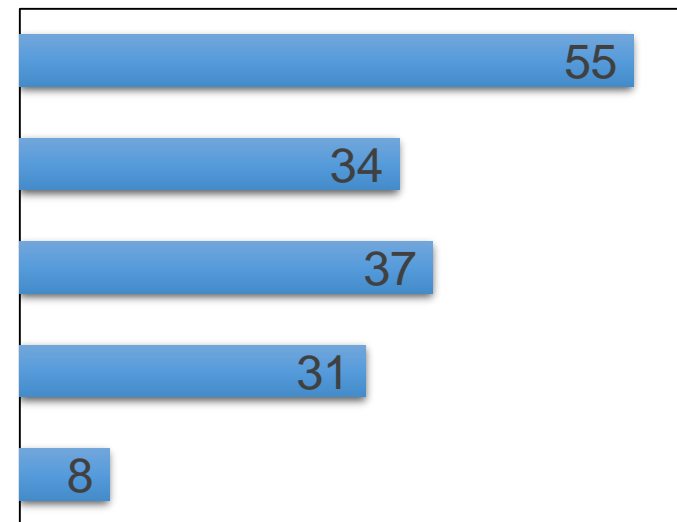
問11 薬剤師や薬局が多職種と連携をすすめるために、今後充実してほしいことをお教えてください。

- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C ポリファーマシー等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）



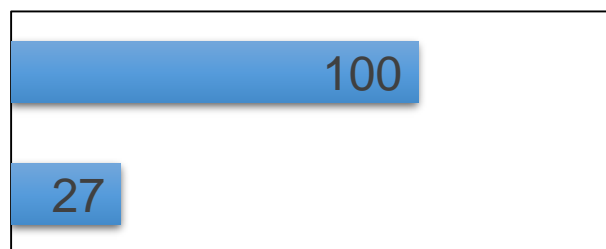
問12 薬剤師は、充足していますか。（複数回答可）

- A 充足している
- B ハローワークからの紹介が少なく、紹介会社や派遣等の経費がかさむ
- C 求人募集しても、応募がない
- D 採用後、人材育成（研修等）に課題がある
- E その他



問13 復職支援に関する事業（HPによる求人サイト・研修等）があれば利用したいですか。

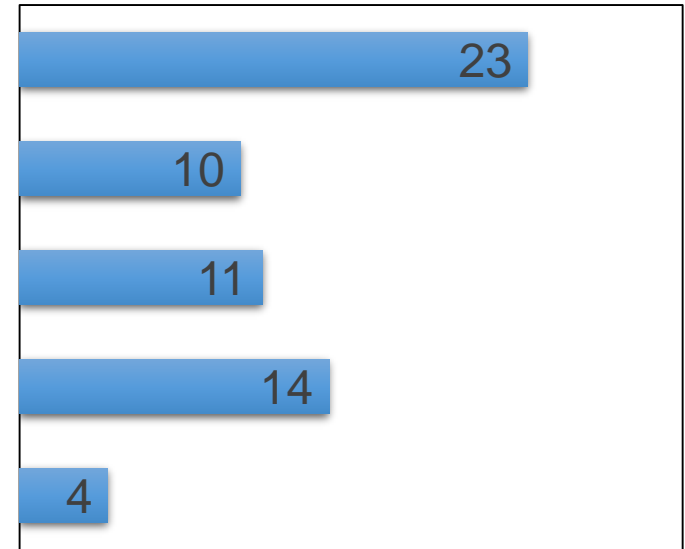
- A 利用したい
- B 利用したくない



問14 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

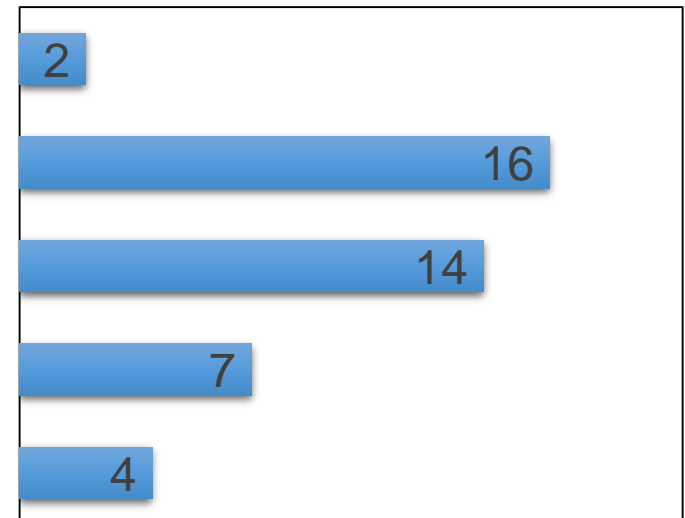
問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



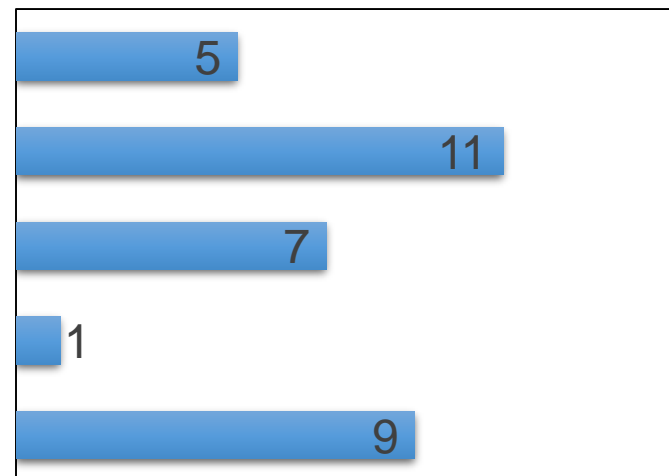
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



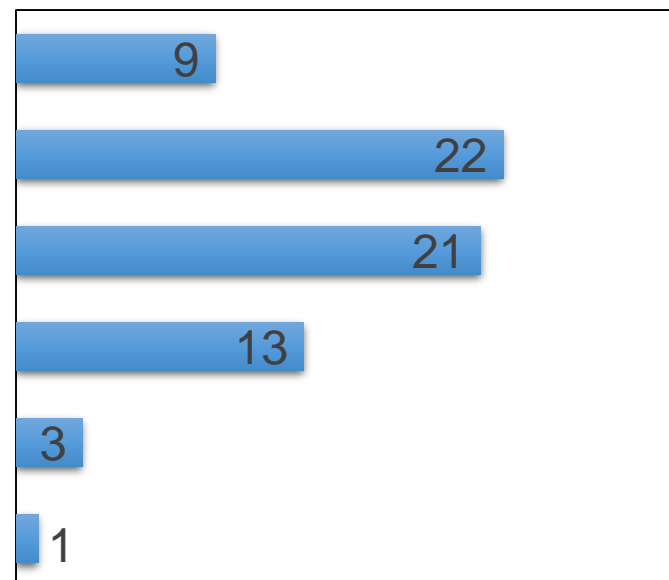
問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。(複数回答可)

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他(自由記入欄に記入してください)



問4 薬局の薬剤師に行ってほしいことをお教えてください。(複数回答可)

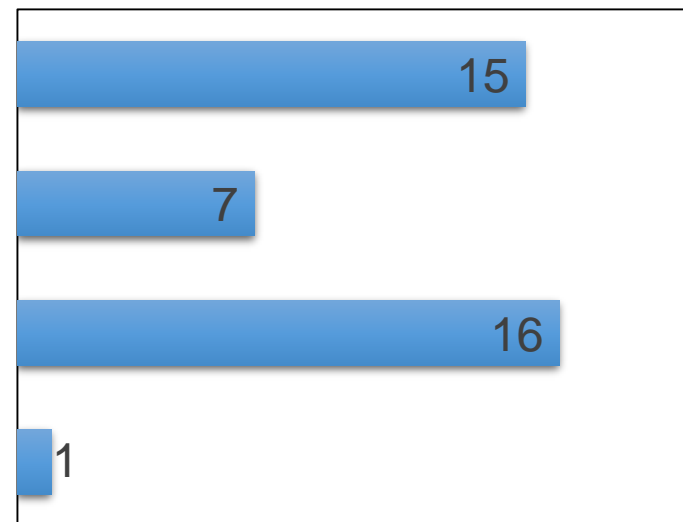
- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理(日数調整)や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他(自由記入欄に記入してください)



回答結果 訪問看護師(訪問看護ステーション等)

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

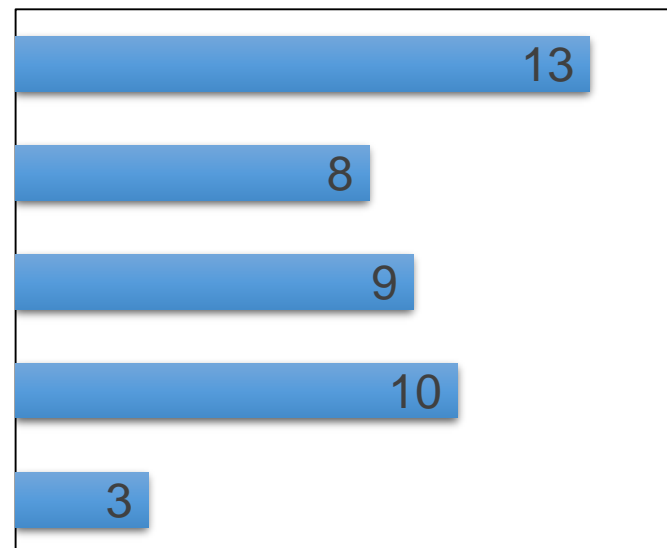
- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C 多剤併用（ポリファーマシー）等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）



問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

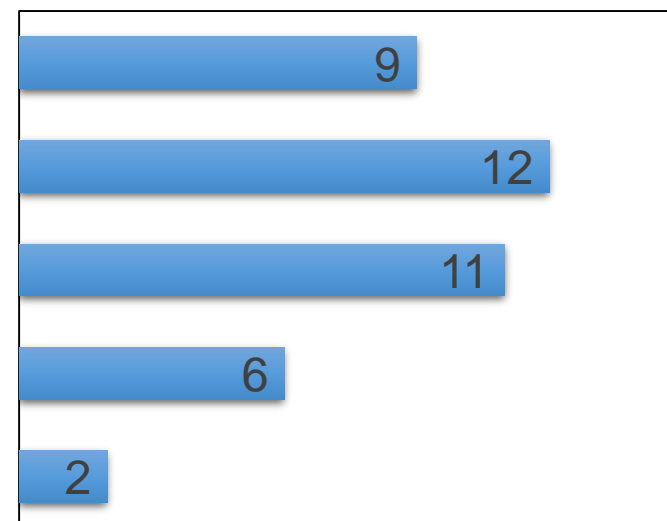
問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



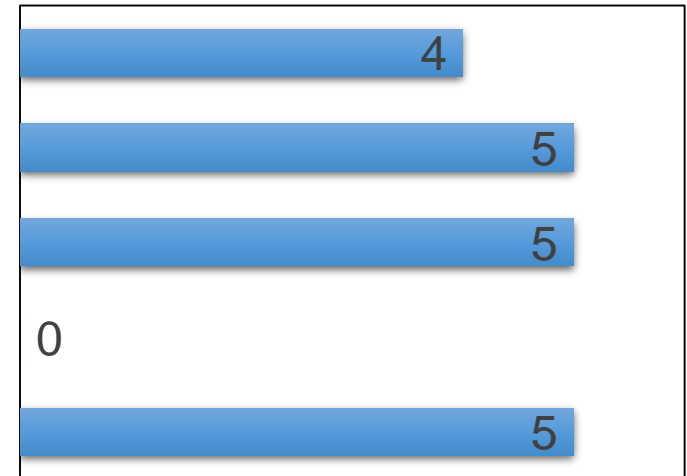
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



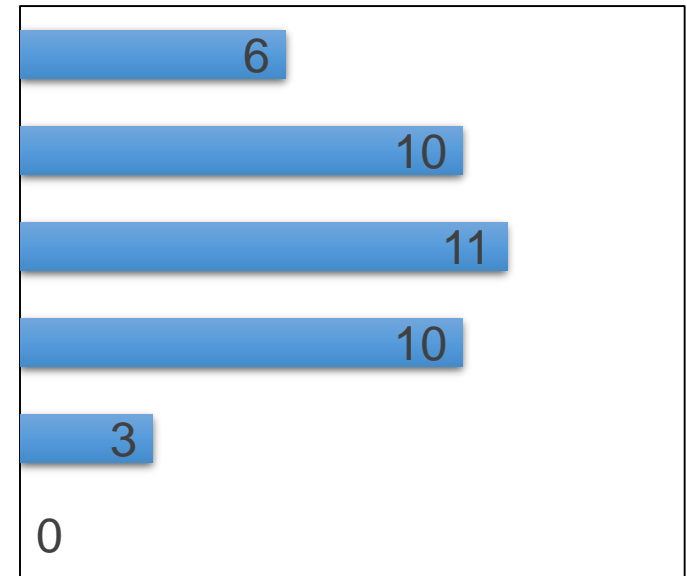
問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。(複数回答可)

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他(自由記入欄に記入してください)



問4 薬局の薬剤師に行ってもらいたいことをお教えてください。(複数回答可)

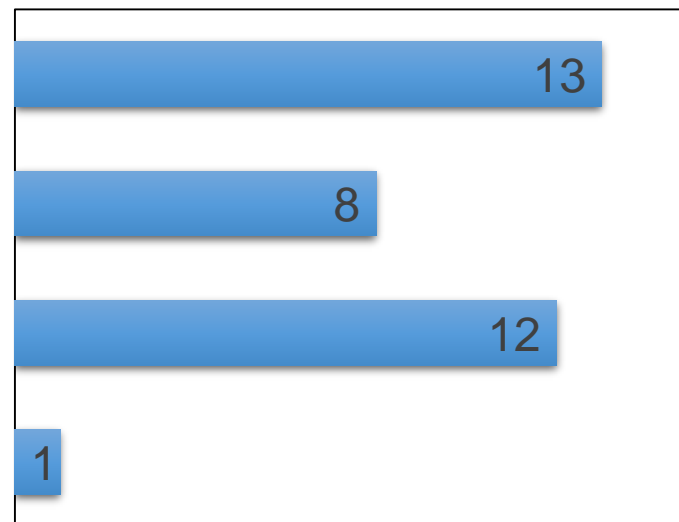
- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理(日数調整)や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他(自由記入欄に記入してください)



回答結果 理学療法士(介護老人保健施設等)

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

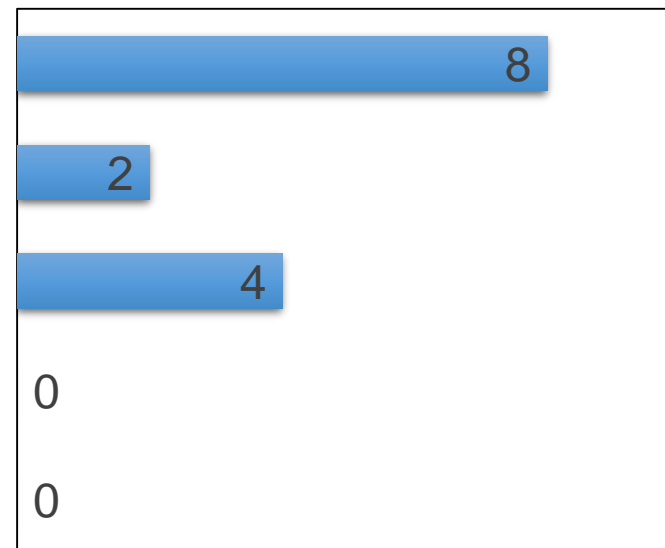
- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C 多剤併用（ポリファーマシー）等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）



問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

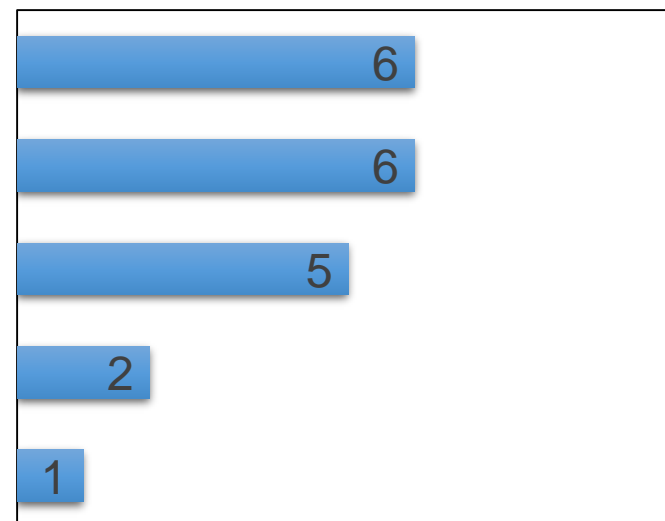
問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



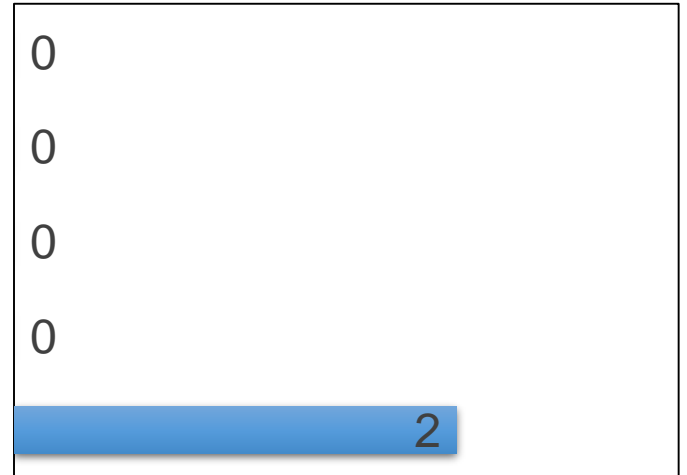
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。
(複数回答可)

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



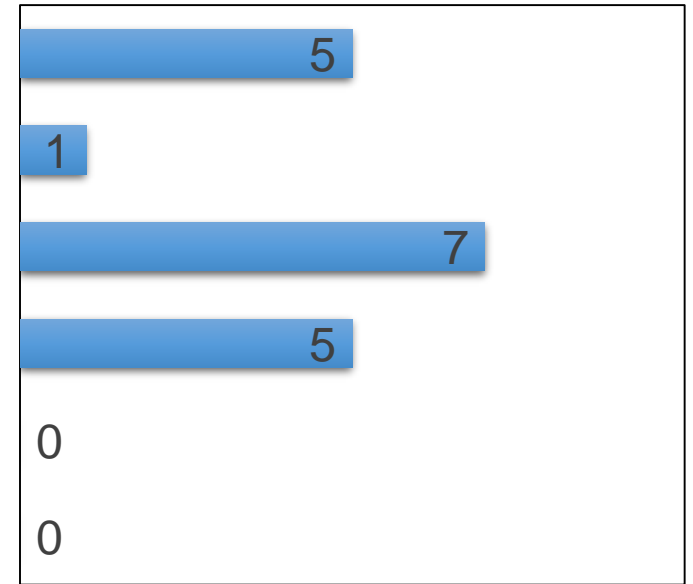
問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。（複数回答可）

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



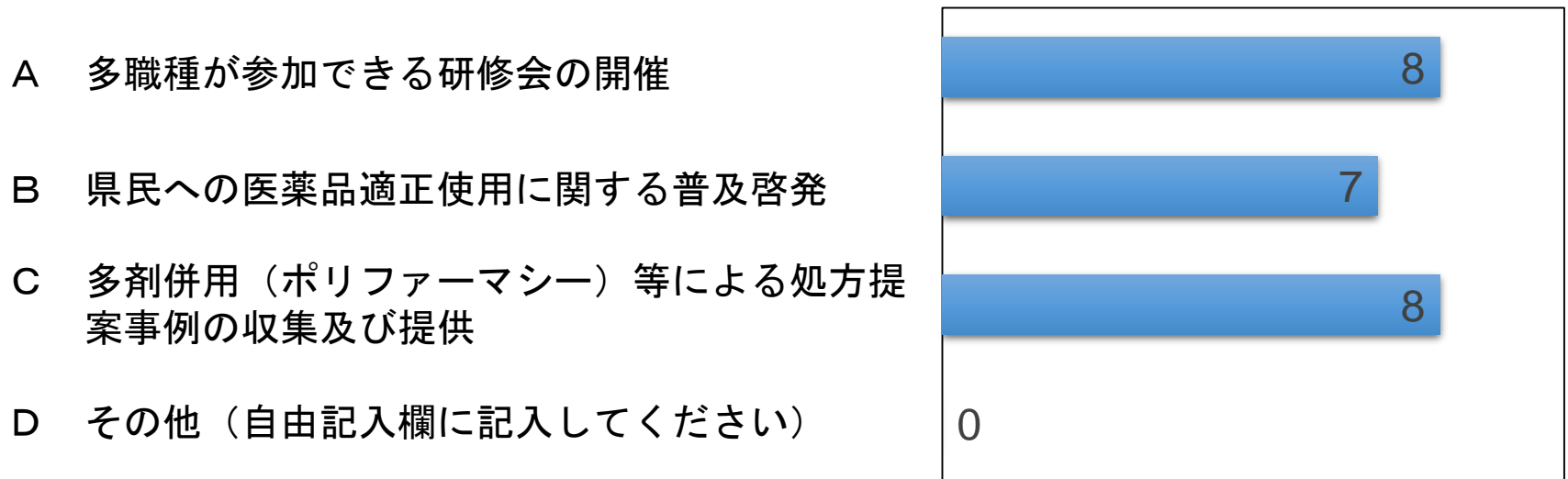
問4 薬局の薬剤師に行ってほしいことをお教えてください。（複数回答可）

- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理（日数調整）や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他（自由記入欄に記入してください）



回答結果 管理栄養士

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

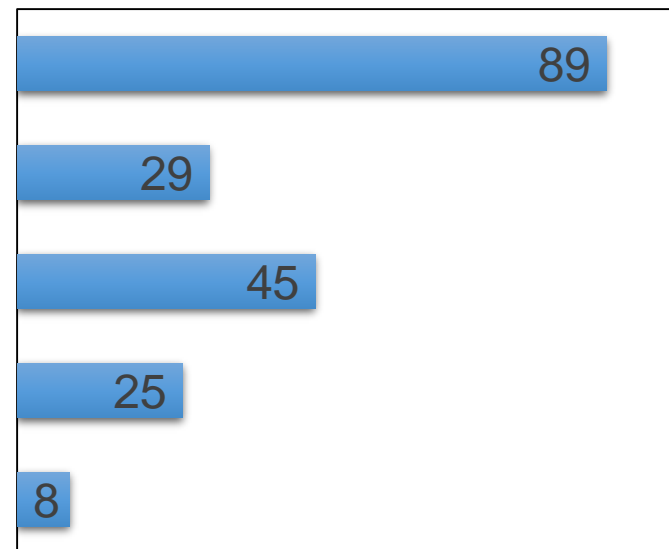


問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。

問1 次のような医薬品の適正使用に課題があると思われる事例がありますか。

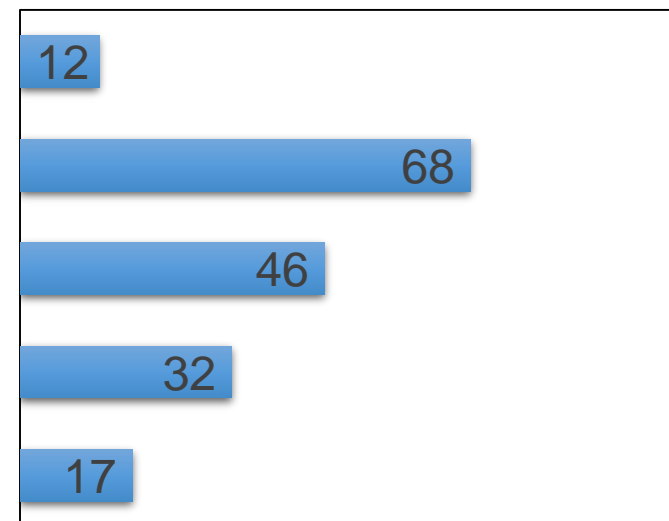
(複数回答可)

- A 薬の飲み忘れや薬の服用方法等に関する理解度が低下している患者がいる
- B 多剤併用（ポリファーマシー）による認知機能低下やフレイルの患者がいる
- C 複数の医療機関を受診しており、服用している全ての薬や健康食品の摂取状況の把握が難しい患者がいる（お薬手帳を持っていない）
- D 唾液分泌低下等による嚥下困難等、服薬に支障がある患者がいる
- E その他（自由記入欄に記入してください）



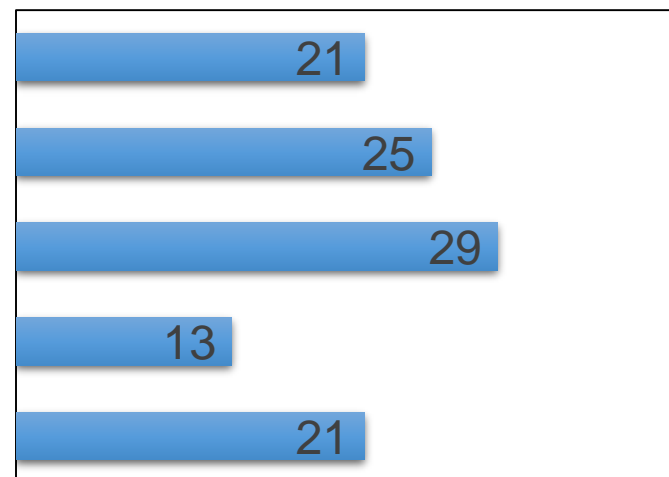
問2 薬剤師や薬局が多職種と連携する際の課題として、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）

- A 地域の薬剤師（薬局）を知らない（連携先がわからない）
- B 日頃から患者の症状などについて薬剤師と情報共有する機会がない
- C 情報共有する体制やツール（様式）がない
- D 薬剤師（薬局）からの問合せがない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



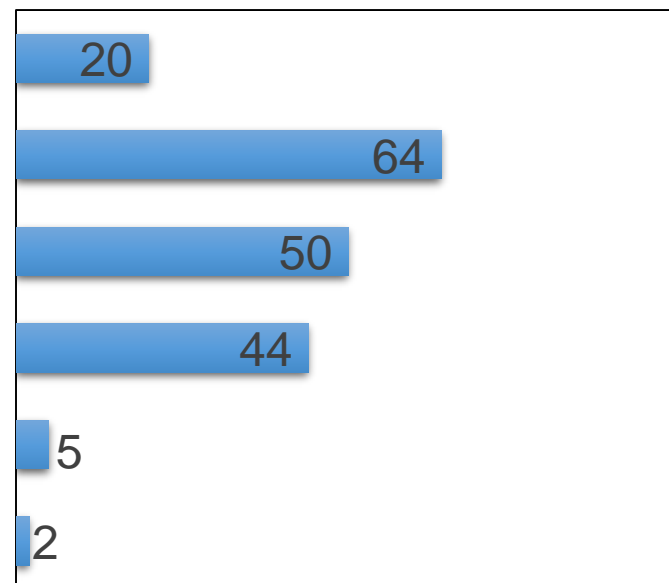
問3 薬剤師の資質等について、あてはまるものをお教えてください。（複数回答可）

- A 在宅医療や緩和医療などの専門知識のある薬剤師が少ない
- B 患者に対する服薬指導が不十分である
- C 相談しにくい雰囲気がある
- D 薬剤師と連携するメリットが感じられない
- E その他（自由記入欄に記入してください）



問4 薬局の薬剤師に行ってほしいことをお教えてください。（複数回答可）

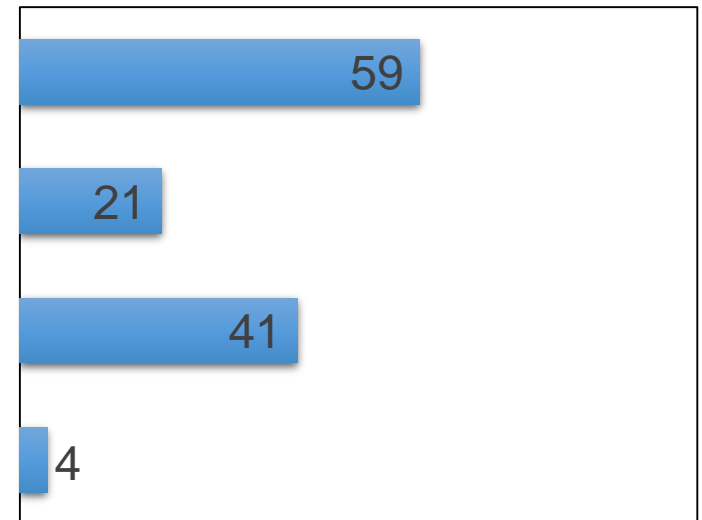
- A 患者の健康食品の摂取やOTC薬の服用状況を把握してほしい
- B 患者の服用状況を把握し、残薬管理（日数調整）や剤形変更等の処方提案をしてほしい
- C 副作用の未然防止対策や早期発見のポイントについて情報提供してほしい
- D 薬全般に関して気軽に相談できるようにしてほしい
- E 特になし
- F その他（自由記入欄に記入してください）



回答結果 介護支援専門員

問5 薬剤師・薬局との連携に関して今後充実してほしいことをお教えてください。
(複数回答可)

- A 多職種が参加できる研修会の開催
- B 県民への医薬品適正使用に関する普及啓発
- C 多剤併用（ポリファーマシー）等による処方提案事例の収集及び提供
- D その他（自由記入欄に記入してください）



問6 薬剤師・薬局との連携や地域の薬局のあり方に関して、日頃感じていることや今後に望むことなどを自由に記入してください。